



医療機器の専門医療職 臨床工学室

病院で働く職員の中に臨床工学技士という職種があることを知っていますか。新型コロナが流行し、人工呼吸器やECMOの名前をニュースで耳にした人もいるかもしれませんが、臨床工学技士は医学と工学を兼ね備えた専門医療職です。病院内ではME (Medical Engineer) やCE (Clinical Engineer) と呼ばれています。人工呼吸器や内視鏡、AEDなど病院で使用する様々な医療機器の保守点検や管理を主な業務としています。また、体内に溜まった老廃物などを排せつ又は代謝する機能が働かなくな



った場合に行う血液浄化療法、心臓病の診断をするための心臓カテーテル検査業務にも携わっています。

医療技術の進歩に伴い、医療機器の高度化、複雑化が進んでいるため院内での医療機器に関する勉強会を実施し、患者に対し安全に使用することができるよう努めています。臨床工学室は様々な医療スタッフと連携し、医療機器を通してチーム医療の一員として安全性と信頼性の確保に貢献するために、4人のスタッフで24時間365日サポートしています。



碧南の歴史へのいざない

問 文化財課
☎48-6602

No.84 空中写真散歩(2)

～五叉路の新川交差点から～

新川橋を北行すると、五叉路が特徴の新川交差点があります。ここから新川町の歴史をみてみます。

まず五叉路を北西に進むと、浅間社や山神社など、新川町でも古い旧大浜街道沿いの街並みに入ります。

次に五叉路を北上すると、銀座通りです。この商店街では、特に昭和25年から40年頃に年3回の大売出しがあり、大変にぎわいました。現在市営駐車場の場所には、木造3階建て、当時西三河最大の劇場・新盛座もありました。このように戦後すぐの写真から活力ある新川町の街並みがみてとれます。

また、新川町駅から新川港にかけて弧を描くのが、現在の名鉄三河線の貨物支線であった新川口支線(通称臨港線/大正4年～昭和30年)です。

このほかに、新川小学校では口の字校舎がくっきりみえます。



米軍1948年撮影/国土地理院提供▷